

- 2011年1月1日から2012年12月31日まで岡山大学病院 産科婦人科において子宮体がんと診断された方へ -

「当院における子宮体がんの家族歴についての検討」へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
岡山大学病院

研究機関の長 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
研究科長 那須 保友
岡山大学病院
病院長 金澤 右

研究責任者 岡山大学病院 産科婦人科
医員 小川 千加子

1.研究の概要 (研究の背景、目的及び意義)

近年、がんの一部には家族性(遺伝性)があることが分かってきました。家族性のがんを疑い診断するには、「家族歴」と呼ばれる血縁者の病気の有無等が重要です。しかし実際にはどのような病気や情報が特に重要であるかはハッキリしていません。またより正確に家族歴を伺うために改善できる点がまだ多くあると感じています。

本研究では子宮体がんと診断された方の家族歴を診療録から振り返り、病気の特徴や治療効果などとの関連性を検討する事で、家族歴把握の重要性や聴取のポイントを明らかにすることを目的にしています。

2.研究の方法

1)研究対象者

2011年1月1日から2012年12月31日まで岡山大学病院 産科婦人科において子宮体がんと診断された方100人を対象とします。

2)研究期間

2017年7月7日 ~ 2018年3月31日

3)研究方法

診療録(カルテ)から、家族歴(血縁者で病気になられた方の近親度と病名)および患者さんご自身の臨床情報(年齢、組織型、進行度、治療法、治療経過、血液検査結果など)について調査し、関連性を検討します。

4)使用する情報

研究に使用する情報として、以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などあなたを直ちに

特定できる情報は削除し、拒否機会期限終了後、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 1)患者基本情報:年齢、診断名、家族歴、病理組織型、予後
- 2)初回治療前血液検査

5)情報の保存及び廃棄の方法、二次利用

本研究に使用した情報は研究終了後5年間、岡山大学病院 産科婦人科学講座内で厳重に保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存期間終了後は電子情報はコンピューターから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

6)研究計画書および個人情報の開示

他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料の閲覧や提供を行います。個々の研究の結果は以下の理由により開示致しません。ご了承ください。

【理由】

匿名化し、かつ対応表を作成しておらず、個人を特定できないため

この研究の結果は氏名、生年月日などあなたを直ちに特定できる情報を分らない形にして論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としますので、2017年11月30日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 産科婦人科 医員 小川 千加子
電話:086-235-7320(平日9時00分~17時00分)